

Solid-State Memory Camcorder

ファームウェアアップデート JP
ドのお知らせ (Ver. 4.0)

Firmware update (Ver. 4.0) GB

固件更新 (4.0版) CS

Mise à jour du FR
micrologiciel (Ver. 4.0)

Firmware-Update (Ver. 4.0) DE

Actualización de firmware ES
(versión 4,0)

Aggiornamento del IT
firmware (Ver. 4.0)

本機は、アップグレードにより、新しい機能の追加に対応しております。

Ver.4.0 で追加された機能

- XQDメモリーカード新シリーズに対応 (3ページ)
- ネットワーククライアントモード時のプロキシー記録 (PXW-X180のみ) (3ページ)
- ネットワーククライアントモード時のファイル転送 (PXW-X180のみ) (4ページ)
- クリップのコピー (4ページ)
- オーディオリファレンスレベルの設定値追加 (5ページ)

Ver.3.1 で追加された機能

- アサインボタンへのシャッター速度設定メニュー表示の割り当て

Ver. 3.0で追加された機能

- オートNDフィルター
- ネットワーククライアントモードによる高品質なストリーミング (PXW-X180のみ)
- LANケーブルを使用したネットワーク接続で次の機能に対応 (PXW-X180のみ)
 - ファイル転送
 - Wi-Fiリモコンの使用
 - Webメニューの操作
 - 「Content Browser Mobile」アプリケーションを使用した本機のリモート操作
- USBワイヤレスLANモジュール「CBK-WA02」に対応 (PXW-X180のみ)
- クリップのシームレス再生
- リモコンでレックレビュー
- DVCAM (AVI) 記録・再生
- 「1280 × 720 : 6Mbps (VBR)」でプロキシー記録 (PXW-X180のみ)

Ver. 3.0で削除された機能

- モニタリングの「640 × 360 : 3Mbps (VBR)」設定

Ver. 2.0で追加された機能

- ピクチャーキャッシュレック
- NDフィルターポジションごとのホワイトバランスメモリー
- 3G/4G/LTE回線、ワイヤレスLAN経由でのストリーミング伝送 (以降「ライブストリーミング」) (PXW-X180のみ)
- ビューファインダーの焼き付き防止対応
(ビューファインダーから目を離しているときに、色が反転した画像が表示されたり、画像が表示されない場合があります。)

ここでは、PXW-X180/PXW-X160の「Ver. 4.0」以降で追加された機能の紹介や使いかたについて説明します。「Ver. 2.0」「Ver. 3.0」「Ver. 3.1」で追加された機能については、各バージョンの「ファームウェアアップグレードのお知らせ」などをご覧ください。また、本機の「取扱説明書」もあわせてお読みください。

XQDメモリーカード 新シリーズに対応

本機で使えるソニー製XQDメモリーカードに、新たにMシリーズが加わりました。また、従来のGシリーズに加えて、GシリーズQD-G**Eもお使いいただくことができます。（**は容量を示す数値）

ソニー製XQDメモリーカード（Sシリーズ、Nシリーズ、Hシリーズ、Gシリーズ、Mシリーズ）以外のメモリーカードをご使用の場合、動作の保証はいたしかねます。

- ◆ XQDメモリーカードの使いかたや使用上のご注意について詳しくは、XQDメモリーカードの取扱説明書をご覧ください。

ネットワーククライアントモードによる高品質なストリーミング (PXW-X180のみ)

ネットワーククライアントモードを有効にし、本機とソニー製ネットワークRXステーションPWS-100RX1（別売）のConnection Control Manager（以降「CCM」）を接続して使うことで、ソニーのQoS技術を用いた高品質なストリーミングが可能になります。

ネットワーククライアントモードを設定する

- 1 本機をネットワークに接続する。**
詳しくは、Ver. 2.0の「ファームウェアアップグレードのお知らせ」の「デバイスとワイヤレスLAN接続する（PXW-X180のみ）」「インターネット接続する（PXW-X180のみ）」をご覧ください。
- 2 SystemメニューのNetwork Client ModeのDetail Settingsで各項目を設定する。**

- CCM Address：接続先のCCMのアドレスを入力します。（ホスト名またはIPアドレス）
- CCM Port：接続先のCCMのポート番号を入力します。
- User Name：ユーザー名を入力します。
- Password：パスワードを入力します。
- NCM with Proxy：CCM接続時のプロキシ記録の有効/無効を設定します。

ご注意

- 本設定画面内のすべての項目に値が入力されないこと、設定を完了できません。
- Detail SettingsのNCM with ProxyをEnableに設定すると、ネットワーククライアントモードが有効な場合でもプロキシ記録ができます。NCM with Proxyの設定を有効にするには、RecordingメニューのProxy Recording ModeのSettingをOnにしてください。
- Detail SettingsのNCM with ProxyがDisableに設定されている場合、記録中にネットワーククライアントモードを有効にすると、プロキシ記録は停止します。オリジナルファイルの記録を継続している場合、ネットワーククライアントモードをOffにするとプロキシ記録が再開されます。

3 SystemメニューのNetwork Client ModeのSettingをOnにする。

ネットワーククライアントモードが有効になり、ネットワークRXステーションPWS-100RX1と接続します。ネットワークRXステーションPWS-100RX1の操作により、ライブストリーミングが開始されます。操作について詳しくは、ネットワークRXステーションPWS-100RX1の取扱説明書をご覧ください。なお、Network Client ModeのSetting（On/Off）は、本機のアサインابلボタンに割り当てることができます。割り当てかたについては、取扱説明書の「アサインابلボタン」をご覧ください。

ご注意

- 通常のストリーミング中は、ネットワーククライアントモードに移行できません。

- ネットワーククライアントモードに移行すると、通常のストリーミング、モニタリングはできません。
- モニタリング中にネットワーククライアントモードに移行すると、モニタリングは停止します。
- ネットワークRXステーションPWS-100RX1で設定可能なストリーミングのビットレートが、プロキシー記録のフォーマットにより、以下のよう
に制限されます。
 ープロキシー記録のフォーマットが1280×720
9Mbps/6Mbps の場合：ストリーミングの
ビットレートは、Very Low の1Mbps 以下に
なります。
 ープロキシー記録のフォーマットが640×360
3Mbps 以下の場合：ストリーミングのビッ
トレートは、Low の3Mbps 以下になります。
- ネットワーククライアントモード時は、プロキ
シーのフォーマット変更はできません。変更す
る場合は、いったんネットワーククライアント
モードをOffにしてください。

ネットワーククライアントモー ドでファイルを転送する

ネットワークRXステーションPWS-100RX1
のCCMと本機をネットワーククライアント
モードで接続して、CCMで設定されたサー
バーへファイルを転送することができます。

CCMからファイル転送操作する

ネットワーククライアントモードで接続し
たCCM上の画面操作により、本機のファイル
を転送します。

- 1 ネットワーククライアントモードで
CCMに接続する。
- 2 CCM上でファイルの転送操作を行
う。
◆ 操作のしかたについてはCCMの取扱説
明書をご覧ください。

本機に接続したデバイスからファイル 転送操作する

本機と同一ネットワーク上に接続している
デバイス（スマートフォン、タブレット、
PCなど）から、本機のファイルを転送しま
す。

- 1 ネットワーククライアントモードで
CCMに接続する。
- 2 本機と同一ネットワーク上に接続し
たデバイスのブラウザを起動して
本機にアクセスする。
- 3 ファイルリスト画面で転送したい
ファイルを選ぶ。
詳しくは、取扱説明書の「ファイルを
選んで転送する」をご覧ください。
- 4 Transferをタップする。
転送先に「NCM：RX Server」が表示
されます。
「NCM：RX Server」を転送先に指定し
ます。
- 5 Transferをタップする。
CCMで設定されたサーバーへ、選んだ
ファイルの転送が開始されます。

ご注意

- ネットワーククライアントモードでのストリー
ミング中は、ファイルを転送できません。スト
リーミングを停止するとファイルを転送できま
す。
- ファイル転送中にネットワーククライアント
モードでのストリーミングを開始すると、ファ
イル転送は停止します。ストリーミングを停止
するとファイル転送を再開します。

クリップのコピー

クリップをコピーする

クリップを別のメモリーカードにコピーす
ることができます。

- 1 サムネイルメニューのCopy Clipを選
ぶ。
- 2 特定のクリップをコピーするには、
Select Clipを選ぶ。
1度に複数のクリップを選択すること
もできます。
コピーするクリップの選択が終わっ
たら、OPTIONボタンを押す。

- 表示されているクリップすべてをコピーするには、**All Clips**を選ぶ。

ご注意

- コピー先のメモリーカードに同名のクリップが存在している場合は、オリジナルのクリップ名に括弧数字を付加したクリップ名でコピーされます。

オーディオリファレンスレベルの設定値

音声入力の基準レベルの設定値（AudioメニューのAudio InputのINPUT1 ReferenceまたはINPUT2 Reference）に、 -80dB と -70dB が追加されました。

Ver.4.0で追加/変更されたメニュー

サムネイルメニュー

Thumbnail		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Copy Clip	Select Clip	任意のクリップをコピーする。
	All Clips	表示されているすべてのクリップをコピーする。

セットアップメニュー

出荷時の初期設定値は、太文字（例：**Disable**）で示します。

System		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Network Client Mode	Detail Settings	ネットワーククライアントモード時のプロキシ記録の有効/無効を設定する。
	NCM with Proxy Enable/ Disable	Enable：CCM接続時のプロキシ記録を有効にする。 Disable：CCM接続時のプロキシ記録を無効にする。

Audio		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Audio Input	INPUT1 Reference -80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB	INPUT1スイッチの設定がMICの場合の基準入力レベルを選択する。
	INPUT2 Reference -80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB	INPUT2スイッチの設定がMICの場合の基準入力レベルを選択する。

English

New functions have been added to your camcorder by the firmware update.

Functions added with Ver. 4.0

- New series XQD memory card supported (*page 3*)
- Proxy recording in network client mode (PXW-X180 only) (*page 3*)
- File transfer in network client mode (PXW-X180 only) (*page 4*)
- Copying clips (*page 4*)
- Additional audio reference level settings (*page 4*)

Functions added with Ver. 3.1

- Assignment of shutter speed setting menu display to an assignable button

Functions added with Ver. 3.0

- Auto ND filter
- High-quality streaming using network client mode (PXW-X180 only)
- Support for the following by network connection with LAN cable (PXW-X180)
 - Uploading files
 - Using the Wi-Fi remote commander
 - Operating the Web menu
 - Remote operation of the camcorder using the “Content Browser Mobile” application
- Support for the USB wireless LAN module “CBK-WA02” (PXW-X180 only)
- Seamless playback of clips
- Rec Review with the remote commander
- DVCAM (AVI) recording/playback
- Proxy recording with “1280×720: 6 Mbps (VBR)” (PXW-X180 only)

Functions deleted from Ver. 3.0

- Monitoring settings “640×360: 3 Mbps (VBR)”

Functions added with Ver. 2.0

- Picture Cache Rec
- White balance memory corresponding to the ND filter position.
- Streaming transmission via 3G/4G/LTE network (hereafter called “live streaming”) (PXW-X180 only)
- Viewfinder burn-in prevention
(When you move your eyes away from the viewfinder, an image with inverted colors may be displayed or no image may be displayed.)

This document describes the functions and respective operations added to the PXW-X180/PXW-X160 camcorders in “Ver. 4.0.” For details about the functions added in “Ver. 2.0,” “Ver. 3.0,” and “Ver. 3.1,” refer to the “Firmware update” for each version. Also refer to the “Operating Guide” of your camcorder.

Support of New Series XQD Memory Cards

The camcorder adds support for the new Sony M-series XQD memory cards.

In addition to existing G-series memory cards, G-series QD**E memory cards can also be used (where the number ** indicates the capacity). If you are using memory cards other than XQD memory cards (S series, N series, H series, G series, M series), operation may not be guaranteed.

For details about using XQD memory cards and usage precautions, refer to the operating instructions for the XQD memory card.

High Quality Streaming using Network Client Mode (PXW-X180 only)

By enabling network client mode and connecting the camcorder to the Connection Control Manager (hereafter called “CCM”) of a PWS-100RX1 Network RX Station (sold separately), high quality streaming using the Sony QoS technology is available.

Setting network client mode

1 Connect the camcorder to the network.

For details, refer to “Connecting to Other Device via Wireless LAN (PXW-X180 only)” or “Connecting to the Internet (PXW-X180 only)” in “Firmware update” for Ver. 2.0.

2 Set items of “Detail Settings” in “Network Client Mode” of the System menu.

- CCM Address: Input the address of the connected CCM (Host name or IP address).
- CCM Port: Input the port number of the connected CCM.
- User Name: Input the user name.
- Password: Input the password.

- NCM with Proxy: Enable/disable proxy recording when connected to the CCM.

Notes

- This setting cannot be completed if any of the items in the setting screen remain blank.
- Setting “NCM with Proxy” in “Detail Settings” to “Enable” enables proxy recording, even when network client mode is enabled.
To enable the “NCM with Proxy” setting, set “Setting” of “Proxy Recording Mode” in the Recording menu to “On.”
- If “NCM with Proxy” of “Detail Settings” is set to “Disable,” proxy recording stops if network client mode is enabled during recording. If original file recording is continuing, setting network client mode to Off will restart proxy recording.

3 Set “Setting” of “Network Client Mode” in the System menu to “On.”

Network client mode is enabled and the camcorder is connected with the PWS-100RX1 Network RX Station.

Live streaming is started by operating the PWS-100RX1 Network RX Station.

For details about operation, refer to the operating instructions of the PWS-100RX1 Network RX Station.

“Setting” (On/Off) of “Network Client Mode” can be assigned to an assignable button. For details on how to assign, refer to “Assignable buttons” in the Operating Guide.

Notes

- Changing to network client mode during normal streaming is not possible.
- After changing to network client mode, normal streaming and monitoring are not available.
- Changing to network client mode while monitoring will stop the monitoring.
- The available streaming bit rates that can be configured by the PWS-100RX1 Network RX Station are limited to the following, depending on the proxy recording format.
 - If the proxy recording format is 1280×720 9Mbps/6Mbps, the streaming bit rate is set to Very Low (1 Mbps or lower).
 - If the proxy recording format is 640×360 3Mbps, the streaming bit rate is set to Low (3 Mbps or lower).
- The proxy format cannot be changed in network client mode. To change the format, temporarily set Network Client Mode to Off.

GB

Transferring files in network client mode

You can transfer files to a server set by the CCM by connecting a PWS-100RX1 Network RX Station acting as a CCM and the camcorder in network client mode.

File transfer operation from CCM

You can transfer files on the camcorder from the operation screen of a CCM connected in network client mode.

- 1 Connect to the CCM in network client mode.**
- 2 Perform file transfer operations on the CCM.**

For details about operation, refer to the operating instructions for the CCM.

File transfer operation from a device connected to the camcorder

You can transfer files on the camcorder from a device (smartphone, tablet, computer, or other device) connected to the camcorder in network client mode.

- 1 Connect to the CCM in network client mode.**
- 2 Connect the camcorder and device on the same network, then launch a browser on the device to connect to the camcorder.**
- 3 Select the files you want to transfer on the file list screen.**

For details, refer to “Selecting the file and uploading” in the Operating Guide.

- 4 Tap [Transfer].**
“NCM: RX Server” is displayed as a destination.
Specify “NCM: RX Server” as the destination.

- 5 Tap [Transfer].**
Transfer of the selected files to the server specified on the CCM starts.

Notes

- File transfer is not supported during streaming in network client mode. File transfer is supported after stopping streaming.
- If streaming in network client mode is started during file transfer, the file transfer stops. File transfer restarts after stopping streaming.

Clip Operations

Copying clips

You can copy clips to another memory card.

- 1 Select “Copy Clip” from the thumbnail menu.**

- 2 • To copy a specific clip, select “Select Clip.”**

You can select multiple clips at the same time.

Press the OPTION button after selecting the clip to be copied.

- **To select all displayed clips, select “All Clips.”**

Note

- If a clip with the same name already exists on the copy destination memory card, a number in parentheses is added to the original name.

Audio Reference Level Settings

Input audio reference levels -80dB and -70dB have been added to “INPUT1 Reference” and “INPUT2 Reference” in “Audio Input” of the Audio menu.

Added/Changed Menus in Ver. 4.0

Thumbnail menu

Thumbnail		
Menu items	Sub items and setting values	Contents
Copy Clip	Select Clip	Copies selected clips.
	All Clips	Copies all displayed clips.

Setup menu

The default settings set at the factory are shown in bold (example: **Disable**).

System		
Menu items	Sub items and setting values	Contents
Network Client Mode	Detail Settings	Enables/disables proxy recording in network client mode.
	NCM with Proxy Enable/ Disable	Enable: Enable proxy recording when connected with a CCM. Disable: Disable proxy recording when connected with a CCM.

Audio		
Menu items	Sub items and setting values	Contents
Audio Input	INPUT1 Reference -80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB	Selects the reference input level when the INPUT1 switch is set to MIC.
	INPUT2 Reference -80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB	Selects the reference input level when the INPUT2 switch is set to MIC.

GB

新功能在经过固件更新后已添加到摄像机中。

4.0版新增的功能

- 支持新系列的XQD存储卡（第3页）
- 在网络客户端模式中进行Proxy录制（仅限PXW-X180）（第3页）
- 在网络客户端模式中进行文件传输（仅限PXW-X180）（第4页）
- 复制片段（第4页）
- 其他音频基准电平设置（第4页）

3.1版新增的功能

- 将快门速度设置菜单显示指定给可指定按钮

3.0版新增的功能

- 自动ND滤镜
- 使用网络客户端模式的高质量流媒体（仅限PXW-X180）
- 通过LAN电缆的网络连接支持以下操作（仅限PXW-X180）
 - 上传文件
 - 使用Wi-Fi遥控器
 - 操作Web菜单
 - 使用“Content Browser Mobile”应用程序的本机遥控操作
- 支持USB无线LAN模块“CBK-WA02”（仅限PXW-X180）
- 片段无缝播放
- 遥控器摄像预览
- DVCAM（AVI）录制/播放
- 以“1280 × 720: 6 Mbps（VBR）”进行Proxy录制（仅限PXW-X180）

3.0版删除的功能

- 监控设置“640 × 360: 3 Mbps（VBR）”

2.0版新增的功能

- 图像缓存录制
- 对应于ND滤镜位置的白平衡存储器
- 通过3G/4G/LTE网络的流媒体传送（以下称为“实时流媒体”）（仅限PXW-X180）
- 预防取景器老化
（当眼睛从取景器移开时，可能显示颜色反转的图像，也可能不显示任何图像。）

本文档介绍PXW-X180/PXW-X160摄像机“4.0版”中新增的功能及其对应操作。有关“2.0版”、“3.0版”和“3.1版”中新增的功能，请参阅各版本的“固件更新”。另请参阅摄像机的“操作指南”。

支持新系列的XQD存储卡

摄像机增加了对全新Sony M系列XQD存储卡的支持。

除现有的G系列存储卡以外，还可以使用G系列QD**E存储卡（其中，编号**表示容量）。

如果使用除XQD存储卡（S系列、N系列、H系列、G系列、M系列）以外的存储卡，可能无法保证操作正常。

有关使用XQD存储卡和使用注意事项的详细信息，请参阅XQD存储卡的使用说明书。

使用网络客户端模式的高质量流媒体（仅限PXW-X180）

通过启用网络客户端模式并将摄像机连接到PWS-100RX1 Network RX Station（另售）的连接控制管理器（以下称为“CCM”），可使用Sony QoS技术进行高质量流媒体。

设置网络客户端模式

1 将本机连接到网络。

有关详情，请参阅2.0版“固件更新”中的“通过无线LAN连接到其它设备（仅限PXW-X180）”或“连接到互联网（仅限PXW-X180）”。

2 在“系统”菜单的“网络客户端模式”中设置“详细内容设置”项目。

- CCM地址：输入连接的CCM的地址（主机名或IP地址）。
- CCM端口：输入连接的CCM的端口号。
- 用户名：输入用户名。
- 密码：输入密码。

- 可记录Proxy的NCM：在连接到CCM时启用/禁用Proxy录制。

注意

- 如果设置屏幕中有任何项目留空，则无法完成此设置。
- 即使启用了网络客户端模式，将“详细内容设置”中的“可记录Proxy的NCM”设为“允许”仍可启用Proxy录制。
要启用“可记录Proxy的NCM”设置，在“录制”菜单中将“Proxy录制模式”的“设置”设为“开”。
- 如果将“详细内容设置”中的“可记录Proxy的NCM”设为“禁止”，则在录制期间启用网络客户端模式会停止Proxy录制。如果此时原始文件仍在继续录制，将网络客户端模式设为“关”会重启Proxy录制。

3 在“系统”菜单中将“网络客户端模式”的“设置”设为“开”。

此时会启用网络客户端模式，并将摄像机连接到PWS-100RX1 Network RX Station。

通过操作PWS-100RX1 Network RX Station启动实时流媒体。

有关操作的详细信息，请参阅PWS-100RX1 Network RX Station的使用说明书。

可以将“网络客户端模式”的“设置”（开/关）指定给可指定按钮。有关如何指定的详细信息，请参阅操作指南中的“可指定按钮”。

注意

- 正常流媒体期间不能更改为网络客户端模式。
- 更改为网络客户端模式后，不能进行正常流媒体和监控。
- 在监控期间更改为网络客户端模式将会停止监控。
- PWS-100RX1 Network RX Station可配置的可用流媒体比特率限制为下列值，具体视Proxy录制格式而定。
–如果Proxy录制格式为1280×720 9Mbps/6Mbps，则流媒体比特率会设为Very Low（1 Mbps或更低）。

CS

- 如果Proxy录制格式为640×360 3Mbps，则流媒体比特率会设为Low（3 Mbps或更低）。
- 网络客户端模式下不能更改Proxy格式。若要更改格式，请先暂时将“网络客户端模式”设为“关”。

在网络客户端模式中传输文件

通过网络客户端模式中连接用作CCM的PWS-100RX1 Network RX Station和摄像机，可以将文件传输到CCM设置的服务器。

通过CCM执行文件传输操作

可以在网络客户端模式中从连接的CCM的操作屏幕传输摄像机上的文件。

- 1 在网络客户端模式中连接CCM。
- 2 在CCM上执行文件传输操作。
有关操作的详细信息，请参阅CCM的使用说明书。

从连接到摄像机的设备执行文件传输操作

可以在网络客户端模式中从连接到摄像机的设备（智能手机、平板电脑、计算机或其他设备）传输摄像机上的文件。

- 1 在网络客户端模式中连接CCM。
- 2 连接同一网络中的摄像机和设备，然后启动设备上的浏览器以连接到摄像机。
- 3 在文件列表屏幕中选择要传输的文件。
有关详细信息，请参阅操作指南中的“选择文件并上传”。
- 4 点击[Transfer]。
会显示“NCM: RX Server”作为目的地。
指定“NCM: RX Server”作为目的地。
- 5 点击[Transfer]。

将选定文件传输到在CCM启动时指定的服务器。

注意

- 在网络客户端模式中进行流媒体时不支持文件传输。停止流媒体后可执行文件传输。
- 如果在文件传输期间在网络客户端模式中启动流媒体，文件传输会停止。停止流媒体后会重新进行文件传输。

片段操作

复制片段

可以将片段复制到另一存储卡。

- 1 从缩略图菜单中选择“复制片段”。
- 2 •要复制特定片段，选择“选择片段”。
可以同时选择多个片段。
选择要复制的片段后，按OPTION按钮。
•要选择所有显示的片段，选择“所有片段”。

注意

- 如果复制目标存储卡上已存在相同名称的片段，系统会在原始名称后面添加一个带括号的数字。

音频基准电平设置

“音频”菜单的“音频输入”下的“INPUT1基准”和“INPUT2基准”中增加了输入音频基准电平-80dB和-70dB。

4.0版新增/更改的菜单

缩略图菜单

缩略图

菜单项目	子项目和设置值	内容
复制片段	选择片段	复制选择的片段。
	所有片段	复制所有显示的片段。

设置菜单

出厂默认设置显示为粗体（例如：**禁止**）。

CS

系统

菜单项目	子项目和设置值	内容
网络客户端模式	详细内容设置	允许/禁止在网络客户端模式中进行Proxy录制。
	可记录Proxy的NCM 允许/禁止	允许：在连接CCM时启用Proxy录制。 禁止：在连接CCM时禁止Proxy录制。

音频

菜单项目	子项目和设置值	内容
音频输入	INPUT1基准 -80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB	选择INPUT1开关设为MIC时的基准输入电平。
	INPUT2基准 -80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB	选择INPUT2开关设为MIC时的基准输入电平。

Français

La mise à jour du micrologiciel a ajouté de nouvelles fonctions à votre caméscope.

Fonctions ajoutées avec la Ver. 4.0

- Nouvelle série de carte mémoire XQD prise en charge (page 3)
- Enregistrement proxy en mode client réseau (PXW-X180 uniquement) (page 3)
- Transfert de fichiers en mode client réseau (PXW-X180 uniquement) (page 4)
- Copie de plans (page 4)
- Réglages de niveau de référence audio supplémentaires (page 5)

Fonctions ajoutées avec la Ver. 3.1

- Attribution de l'affichage du menu de réglage de la vitesse d'obturation à une touche assignable

Fonctions ajoutées avec la Ver. 3.0

- Filtre ND automatique
- Diffusion continue de haute qualité en mode client réseau (PXW-X180 uniquement)
- Prise en charge des fonctionnalités suivantes au moyen d'une connexion réseau à l'aide d'un câble (PXW-X180 uniquement)
 - Téléversement de fichiers
 - Utilisation de la télécommande Wi-Fi
 - Utilisation du menu Web
 - Utilisation à distance du caméscope à partir de l'application « Content Browser Mobile »
- Prise en charge du module LAN sans fil USB « CBK-WA02 » (PXW-X180 uniquement)
- Lecture ininterrompue de plans
- Révision d'enregistrement à partir de la télécommande
- Enregistrement/lecture DVCAM (AVI)
- Enregistrement sur proxy en « 1280 × 720: 6 Mbps (VBR) » (PXW-X180 uniquement)

Fonctions supprimées par la Ver. 3.0

- Réglage de la surveillance « 640 × 360: 3 Mbps (VBR) »

Fonctions ajoutées par la Ver. 2.0

- Stockage dans le cache d'images
- Mémoire de la balance des blancs en fonction de la position du filtre ND
- Transmission de la diffusion continue via les réseaux 3G/4G/LTE (ci-après appelée « diffusion continue en direct ») (PXW-X180 uniquement)
- Prévention anti-marquage du viseur
(Lorsque vous éloignez les yeux du viseur, une image avec les couleurs inversées peut s'afficher ou aucune image n'apparaît.)

Ce document a pour objet de décrire les fonctions qui ont été ajoutées aux caméscopes PXW-X180/PXW-X160 dans la « Ver. 4.0. », ainsi que leur fonctionnement. Pour obtenir plus de détails sur les fonctions ajoutées dans la « Ver. 2.0 », « Ver. 3.0 » et « Ver. 3.1 », consultez la « Mise à jour du micrologiciel » pour chaque version. Consultez également le « Mode d'emploi » de votre caméscope.

Prise en charge d'une nouvelle série de cartes mémoire XQD

Le caméscope prend à présent en charge la nouvelle série M de cartes mémoire XQD de Sony.

Outre les cartes mémoire existantes de série G, les cartes mémoire QD**E de série G peuvent également être utilisées (le numéro ** indique la capacité).

Si vous utilisez des cartes mémoire autres que des cartes mémoire XQD (série S, série N, série H, série G, série M), le fonctionnement n'est pas garanti.

Pour obtenir plus de détails sur l'utilisation des cartes mémoire XQD et les précautions d'utilisation les concernant, reportez-vous au mode d'emploi de la carte mémoire XQD.

Diffusion continue de haute qualité avec le mode client réseau (PXW-X180 uniquement)

En activant le mode client réseau et en connectant le caméscope au Connection Control Manager (appelé ci-après « CCM ») d'une station réseau RX PWS-100RX1 (vendue séparément), la diffusion continue haute qualité utilisant la technologie QoS de Sony est disponible.

Réglage du mode client réseau

1 Connectez le caméscope au réseau.

Pour plus de détails, reportez-vous à « Connexion à un autre périphérique via le LAN sans fil (PXW-X180 uniquement) » ou à « Connexion à Internet (PXW-X180 uniquement) » sous « Mise à jour du micrologiciel » de la Ver. 2.0.

2 Réglez les éléments de « Detail Settings » dans « Network Client Mode » du menu System.

- CCM Address : saisissez l'adresse du CCM connecté (nom d'hôte ou adresse IP).
- CCM Port : saisissez le numéro de port du CCM connecté.
- User Name : saisissez le nom d'utilisateur.
- Password : saisissez le mot de passe.
- NCM with Proxy : activez/désactivez l'enregistrement proxy pendant la connexion au CCM.

Remarques

- Ce réglage ne peut pas être effectué si l'un des éléments de l'écran de réglage reste vide.
- Régler « NCM with Proxy » dans « Detail Settings » sur « Enable » active l'enregistrement proxy, même lorsque le mode client réseau est activé. Pour activer le réglage « NCM with Proxy », réglez « Setting » de « Proxy Recording Mode » dans le menu Recording sur « On ».
- Si « NCM with Proxy » de « Detail Settings » est réglé sur « Disable », l'enregistrement proxy s'arrête si le mode client réseau est activé pendant l'enregistrement. Si l'enregistrement du fichier d'origine continue, régler le mode client réseau sur Off redémarrera l'enregistrement proxy.

3 Réglez « Setting » de « Network Client Mode » dans le menu System sur « On ».

Le mode client réseau est activé et le caméscope est connecté avec la station réseau RX PWS-100RX1.

La diffusion continue en direct est démarrée en utilisant la station réseau RX PWS-100RX1.

Pour obtenir plus de détails sur le fonctionnement, consultez le mode d'emploi de la station réseau RX PWS-100RX1. « Setting » (On/Off) de « Network Client Mode » peut être attribué à une touche assignable. Pour plus de détails sur la méthode d'attribution, consultez « Touches assignables » dans le mode d'emploi.

Remarques

- Le passage au mode client réseau pendant la diffusion continue normale n'est pas possible.
- Après être passé au mode client réseau, la diffusion continue normale et le contrôle ne sont pas disponibles.
- Le passage au mode client réseau pendant le contrôle arrêtera le contrôle.
- Les débits binaires de diffusion continue disponibles qui peuvent être configurés par la station réseau RX PWS-100RX1 sont limités aux indications suivantes, en fonction du format d'enregistrement proxy.

- Si le format d'enregistrement proxy est de 1280×720 9 Mbps/6 Mbps, le débit binaire de diffusion continue est réglé sur Very Low (1 Mbps ou inférieur).
- Si le format d'enregistrement proxy est de 640×360 3 Mbps, le débit binaire de diffusion continue est réglé sur Low (3 Mbps ou inférieur).
- Le format proxy ne peut pas être modifié en mode client réseau. Pour modifier le format, réglez temporairement Network Client Mode sur Off.

Transfert de fichiers en mode client réseau

Vous pouvez transférer des fichiers vers un serveur défini par l'intermédiaire du CCM en connectant une station réseau RX PWS-100RX1 fonctionnant comme un CCM et le caméscope en mode client réseau.

Opération de transfert de fichiers depuis le CCM

Vous pouvez transférer des fichiers sur le caméscope depuis l'écran d'opération d'un CCM connecté en mode client réseau.

- 1 Procédez à la connexion au CCM en mode client réseau.**
- 2 Réalisez les opérations de transfert de fichiers sur le CCM.**

Pour obtenir plus de détails sur le fonctionnement, consultez le mode d'emploi du CCM.

Opération de transfert de fichiers depuis un dispositif connecté au caméscope

Vous pouvez transférer des fichiers sur le caméscope depuis un dispositif (smartphone, tablette, ordinateur ou autre dispositif) connecté au caméscope en mode client réseau.

- 1 Procédez à la connexion au CCM en mode client réseau.**
- 2 Connectez le caméscope et le dispositif sur le même réseau, puis lancez un navigateur sur le dispositif à connecter au caméscope.**

3 Sélectionnez les fichiers que vous voulez transférer sur l'écran de liste de fichiers.

Pour plus de détails, consultez « Sélection du fichier et téléversement » dans le mode d'emploi.

4 Appuyez sur [Transfer].

« NCM: RX Server » fait partie des destinations affichées. Définissez « NCM: RX Server » comme destination.

5 Appuyez sur [Transfer].

Le transfert des fichiers sélectionnés sur le serveur spécifié sur le CCM démarre.

Remarques

- Le transfert de fichiers n'est pas pris en charge pendant la diffusion continue en mode client réseau. Le transfert de fichiers est pris en charge après l'arrêt de la diffusion continue.
- Si la diffusion continue en mode client réseau est démarrée pendant le transfert de fichiers, le transfert de fichiers s'arrête. Le transfert de fichiers redémarre après l'arrêt de la diffusion continue.

Opérations sur les plans

Copie de plans

Vous pouvez copier des plans sur une autre carte mémoire.

- 1 Sélectionnez « Copy Clip » depuis le menu des vignettes.**
- 2**
 - **Pour copier un plan spécifique, sélectionnez « Select Clip ».**
Vous pouvez sélectionner plusieurs plans en même temps. Appuyez sur la touche OPTION après avoir sélectionné le plan à copier.
 - **Pour sélectionner tous les plans affichés, sélectionnez « All Clips ».**

Remarque

- Si un plan avec le même nom existe déjà sur la carte mémoire de destination de copie, un numéro entre parenthèses est ajouté au nom d'origine.

Réglages de niveau de référence audio

Les niveaux de référence audio d'entrée -80dB et -70dB ont été ajoutés à « INPUT1 Reference » et « INPUT2 Reference » dans « Audio Input » du menu Audio.

Menus ajoutés/modifiés dans la Ver. 4.0

Menu Thumbnail

Thumbnail		
Options de menu	Sous-options et valeurs de réglage	Contenu
Copy Clip	Select Clip	Copie les plans sélectionnés.
	All Clips	Copie tous les plans affichés.

Menu Setup

Les réglages par défaut effectués en usine sont indiqués en gras (exemple : **Disable**).

System		
Options de menu	Sous-options et valeurs de réglage	Contenu
Network Client Mode	Detail Settings	Active/désactive l'enregistrement proxy en mode client réseau.
	NCM with Proxy Enable/ Disable	Enable : active l'enregistrement proxy pendant la connexion à un CCM. Disable : désactive l'enregistrement proxy pendant la connexion à un CCM.

Audio		
Options de menu	Sous-options et valeurs de réglage	Contenu
Audio Input	INPUT1 Reference -80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB	Permet de sélectionner le niveau d'entrée de référence au moment où le commutateur INPUT1 est réglé sur MIC.
	INPUT2 Reference -80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB	Permet de sélectionner le niveau d'entrée de référence au moment où le commutateur INPUT2 est réglé sur MIC.

Deutsch

Dem Camcorder wurden durch das Firmwareupdate neue Funktionen hinzugefügt.

Mit Ver. 4.0 hinzugefügte Funktionen

- Unterstützung für neue Modellreihe von XQD-Speicherkarten (*Seite 3*)
- Proxy-Aufnahme im Netzwerk-Client-Modus (nur PXW-X180) (*Seite 3*)
- Dateiübertragung im Netzwerk-Client-Modus (nur PXW-X180) (*Seite 4*)
- Kopieren von Clips (*Seite 4*)
- Zusätzliche Referenz-Tonpegelinstellungen (*Seite 5*)

Mit Ver. 3.1 hinzugefügte Funktionen

- Zuordnung der Anzeige des Belichtungszeit-Einstellungsmenüs zu einer belegbaren Taste

Mit Ver. 3.0 hinzugefügte Funktionen

- ND-Filterautomatik
- Hochqualitatives Streaming mit Netzwerk-Client-Modus (nur PXW-X180)
- Unterstützung für folgende Funktionen bei Netzwerkverbindung mit LAN-Kabel (nur PXW-X180)
 - Hochladen von Dateien
 - Verwenden der Wi-Fi-Fernbedienung
 - Bedienen des Web-Menüs
 - Fernsteuern des Camcorders mithilfe der Anwendung „Content Browser Mobile“
- Unterstützung des USB-WLAN-Moduls „CBK-WA02“ (nur PXW-X180)
- Nahtlose Wiedergabe von Clips
- Aufnahmeübersicht mit der Fernbedienung
- Aufnahme/Wiedergabe in DVCAM (AVI)
- Proxy-Aufnahme mit „1280 × 720: 6 Mbps (VBR)“ (nur PXW-X180)

Aus Ver. 3.0 gelöschte Funktionen

- Einstellungen für die Prüfung „640 × 360: 3 Mbps (VBR)“

Mit Ver. 2.0 hinzugefügte Funktionen

- Bildpufferaufnahme
- Weißwertspeicher je nach ND-Filterposition
- Streaming-Übertragung über 3G/4G/LTE-Netzwerk (im Folgenden als „Live-Streaming“ bezeichnet) (nur PXW-X180)
- Vermeidung des Sucher-Einbrenneffekts
(Wenn Sie Ihre Augen vom Sucher wegbewegen, wird eventuell ein Bild in umgekehrten Farben oder kein Bild angezeigt.)

Dieses Dokument beschreibt die in Version 4.0 zu den Camcordern PXW-X180/PXW-X160 hinzugefügten Funktionen sowie die entsprechenden Bedienvorgänge. Einzelheiten zu den in den Versionen 2.0, 3.0 und 3.1 hinzugefügten Funktionen finden Sie im „Firmware-Update“ der jeweiligen Version. Schlagen Sie auch in der Bedienungsanleitung Ihres Camcorders nach.

Unterstützung für neue Modellreihe von XQD-Speicherkarten

Der Camcorder unterstützt jetzt die neuen XQD-Speicherkarten der Serie M von Sony.

Neben den bereits vorhandenen Speicherkarten der Serie G können auch QD**E-Speicherkarten der Serie G verwendet werden (wobei die Zahl ** die Kapazität angibt).

Bei Verwendung anderer als XQD-Speicherkarten (Serien S, N, H, G und M) kann die Funktion nicht garantiert werden.

Weitere Informationen und Gebrauchshinweise zu XQD-Speicherkarten finden Sie in der Betriebsanleitung für die XQD-Speicherkarte.

Hochqualitatives Streaming mit dem Netzwerk-Client-Modus (nur PXW-X180)

Wenn Sie den Netzwerk-Client-Modus aktivieren und den Camcorder an den Connection Control Manager (nachstehend „CCM“) einer separat erhältlichen Network RX Station PWS-100RX1 anschließen, ist qualitativ hochwertiges Streaming mit der Sony QoS-Technologie verfügbar.

Einstellen des Netzwerk-Client-Modus

1 Verbinden Sie den Camcorder mit dem Netzwerk.

Einzelheiten dazu finden Sie unter „Herstellen einer Verbindung mit einem anderen Gerät über WLAN (nur PXW-X180)“ oder „Herstellen einer Verbindung mit dem Internet (nur PXW-X180)“ unter „Firmware-Update“ für Ver. 2.0.

2 Nehmen Sie Einstellungen für „Detail Settings“ im Punkt „Network Client Mode“ des Menüs „System“ vor.

- CCM Address: Geben Sie die Adresse (Hostname oder IP-Adresse) des angeschlossenen CCM ein.
- CCM Port: Geben Sie die Portnummer des angeschlossenen CCM ein.
- User Name: Geben Sie den Benutzernamen ein.
- Password: Geben Sie das Kennwort ein.
- NCM with Proxy: Aktiviert/deaktiviert bei einer Verbindung mit einem CCM die Proxy-Aufzeichnung.

Hinweise

- Diese Einstellung kann nicht abgeschlossen werden, wenn eines der Elemente im Einstellungsbildschirm leer bleibt.
- Wenn Sie „NCM with Proxy“ in „Detail Settings“ auf „Enable“ setzen, ist die Proxy-Aufzeichnung auch bei aktiviertem Netzwerk-Client-Modus aktiviert. Um die Einstellung „NCM with Proxy“ zu aktivieren, stellen Sie die Option „Setting“ unter „Proxy Recording Mode“ im Menü „Recording“ auf „On“.
- Wenn die Option „NCM with Proxy“ unter „Detail Settings“ auf „Disable“ eingestellt ist, wird die Proxy-Aufnahme angehalten, wenn während der Aufzeichnung der Netzwerk-Client-Modus aktiviert wird. Wenn die Aufzeichnung der Originaldatei fortgesetzt und der Netzwerk-Client-Modus auf „Off“ gesetzt wird, wird die Proxy-Aufzeichnung neu gestartet.

3 Stellen Sie „Setting“ unter „Network Client Mode“ im Menü „System“ auf „On“.

Der Netzwerk-Client-Modus wird aktiviert und der Camcorder wird mit der Netzwerk-RX-Station PWS-100RX1 verbunden. Der Live-Streaming-Vorgang wird durch die Bedienung der Netzwerk-RX-Station PWS-100RX1 gestartet. Ausführliche Informationen zur Bedienung finden Sie in der Bedienungsanleitung für die Netzwerk-RX-Station PWS-100RX1. Die Option „Setting“ (On/Off) von „Network Client Mode“ kann einer belegbaren Taste zugewiesen werden. Näheres zur Vorgehensweise finden Sie in der Bedienungsanleitung unter „Frei belegbare Tasten“.

Hinweise

- Der Netzwerk-Client-Modus kann während des normalen Streamings nicht geändert werden.

DE

- Nach dem Aktivieren des Netzwerk-Client-Modus sind das normale Streaming und die Überwachung nicht verfügbar.
- Wenn Sie während der Überwachung in den Netzwerk-Client-Modus wechseln, wird die Überwachung angehalten.
- Die verfügbaren Streaming-Bitraten, die mit der Netzwerk-RX-Station PWS-100RX1 konfiguriert werden können, sind abhängig vom Proxy-Aufnahmeformat auf die folgenden Werte beschränkt:
 - Wenn das Proxy-Aufnahmeformat 1280×720 9 MBit/s/6 MBit/s beträgt, ist die Streaming-Bitrate auf „Very Low“ (1 MBit/s oder niedriger) festgelegt.
 - Wenn das Proxy-Aufnahmeformat 640×360 3 MBit/s beträgt, ist die Streaming-Bitrate auf „Low“ (3 MBit/s oder niedriger) festgelegt.
- Das Proxy-Format kann im Netzwerk-Client-Modus nicht geändert werden. Um das Format zu ändern, stellen Sie „Network Client Mode“ vorübergehend auf „Off“.

Übertragen von Dateien im Netzwerk-Client-Modus

Sie können Dateien auf einen vom CCM festgelegten Server übertragen, indem Sie eine als CCM verwendete Netzwerk-RX-Station PWS-100RX1 und den Camcorder im Netzwerk-Client-Modus anschließen.

Ausführen der Dateiübertragung auf einem CCM

Sie können Dateien auf dem Camcorder über den Bildschirm eines im Netzwerk-Client-Modus angeschlossenen CCM übertragen.

- 1 Stellen Sie im Netzwerk-Client-Modus eine Verbindung zum CCM her.**
- 2 Führen Sie die Dateiübertragung auf dem CCM aus.**

Ausführliche Informationen zur Bedienung finden Sie in der Bedienungsanleitung des CCM.

Ausführen der Dateiübertragung auf einem mit dem Camcorder verbundenen Gerät

Sie können Dateien auf dem Camcorder über ein im Netzwerk-Client-Modus angeschlossenes Gerät (Smartphone, Tablet-Computer, Computer usw.) übertragen.

- 1 Stellen Sie im Netzwerk-Client-Modus eine Verbindung zum CCM her.**
- 2 Verbinden Sie den Camcorder und das Gerät über dasselbe Netzwerk und öffnen Sie auf dem Gerät einen Browser, um die Verbindung zum Camcorder herzustellen.**
- 3 Wählen Sie im Bildschirm mit der Dateiliste die Dateien aus, die Sie übertragen möchten.**
Weitere Informationen hierzu finden Sie im Abschnitt „Auswählen der Datei und Hochladen“ in der Bedienungsanleitung.
- 4 Tippen Sie auf [Transfer].**
„NCM: RX Server“ wird als Ziel angezeigt. Geben Sie „NCM: RX Server“ als Ziel an.
- 5 Tippen Sie auf [Transfer].**
Die Übertragung der ausgewählten Dateien auf den am CCM angegebenen Server beginnt.

Hinweise

- Während des Streamings im Netzwerk-Client-Modus wird die Dateiübertragung nicht unterstützt. Nach der Beendigung des Streamings wird die Dateiübertragung unterstützt.
- Wenn das Streaming im Netzwerk-Client-Modus während einer Dateiübertragung gestartet wird, wird die Dateiübertragung angehalten. Nach der Beendigung des Streamings wird die Dateiübertragung neu gestartet.

Clipfunktionen

Kopieren von Clips

Sie können Clips auf eine andere Speicherkarte kopieren.

- 1 Wählen Sie im Thumbnail-Menü die Option „Copy Clip“.**
- 2 • Um einen bestimmten Clip zu kopieren, wählen Sie „Select Clip“.**
Sie können mehrere Clips gleichzeitig auswählen.

Drücken Sie nach der Auswahl des zu kopierenden Clips die Taste OPTION.

- **Um alle angezeigten Clips auszuwählen, wählen Sie die Option „All Clips“.**

Hinweis

- Wenn auf der als Kopierziel gewählten Speicherkarte bereits ein Clip mit gleichem Namen vorhanden ist, wird in Klammern eine Zahl zum ursprünglichen Namen hinzugefügt.

Referenz-Tonpegelinstellungen

Den Optionen „INPUT1 Reference“ und „INPUT2 Reference“ im Punkt „Audio Input“ des Menüs „Audio“ wurden die Eingangs-Referenztonpegel -80dB und -70dB hinzugefügt.

DE

In Version 4.0 hinzugefügte/geänderte Menüs

Thumbnail-Menü

Miniaturbild		
Menüoptionen	Unteroptionen und Einstellwerte	Beschreibung
Copy Clip	Select Clip	Zum Kopieren ausgewählter Clips.
	All Clips	Zum Kopieren aller angezeigten Clips.

Einstellmenü

Die ab Werk eingestellten Standardeinstellungen werden fett dargestellt (Beispiel: **Disable**).

System		
Menüoptionen	Unteroptionen und Einstellwerte	Beschreibung
Network Client Mode	Detail Settings	Aktiviert/deaktiviert die Proxy-Aufnahme im Netzwerk-Client-Modus. Enable: Aktiviert bei einer Verbindung mit einem CCM die Proxy-Aufzeichnung. Disable: Deaktiviert bei einer Verbindung mit einem CCM die Proxy-Aufzeichnung.
	NCM with Proxy Enable/ Disable	

Audio		
Menüoptionen	Unteroptionen und Einstellwerte	Beschreibung
Audio Input	INPUT1 Reference -80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB	Wahl des Referenzeingangspegels, wenn der Schalter INPUT1 auf MIC gesetzt ist.
	INPUT2 Reference -80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB	Wahl des Referenzeingangspegels, wenn der Schalter INPUT2 auf MIC gesetzt ist.

DE

Se han añadido nuevas funciones a la videocámara mediante la actualización del firmware.

Funciones añadidas con la Versión 4,0

- Se admite la nueva tarjeta de memoria de la serie XQD (*página 3*)
- Grabación proxy en el modo de cliente de red (solo en PXW-X180) (*página 3*)
- Transferencia de archivos en el modo de cliente de red (solo en PXW-X180) (*página 4*)
- Copia de clips (*página 4*)
- Ajustes adicionales del nivel de referencia de audio (*página 5*)

Funciones añadidas con la Versión 3,1

- Asignación de la visualización del menú de ajuste de la velocidad de obturación a un botón asignable

Funciones añadidas con la Versión 3,0

- Filtro ND automático
- Transferencia continua de alta calidad con el modo de cliente de red (solamente en el modelo PXW-X180)
- Admite las operaciones siguientes mediante una conexión de red con un cable LAN (solamente en el modelo PXW-X180)
 - Carga de archivos
 - Utilización del mando a distancia Wi-Fi
 - Manejo del menú Web
 - Manejo remoto de la videocámara mediante el uso de la aplicación “Content Browser Mobile”
- Compatible con el módulo LAN inalámbrico USB “CBK-WA02” (solamente en el modelo PXW-X180)
- Reproducción continua de clips
- Revisión de grabación con el mando a distancia
- Grabación/Reproducción DVCAM (AVI)
- Grabación proxy con “1280 × 720: 6 Mbps (VBR)” (solamente en el modelo PXW-X180)

Funciones eliminadas de la Versión 3,0

- Ajustes de monitorización “640 × 360: 3 Mbps (VBR)”

Funciones añadidas con la Versión 2,0

- Grabación de caché de la imagen
- Memoria del balance de blancos correspondiente a la posición del filtro ND
- Transmisiones de transferencia continua a través de una red 3G/4G/LTE (en adelante, denominada “transmisión en tiempo real”) (solamente en el modelo PXW-X180)
- Prevención de quemado de la imagen en el visor
(Al apartar la vista del visor, se muestra una imagen con los colores invertidos o ninguna imagen en absoluto).

En este documento se explican las funciones y las operaciones correspondientes añadidas a las videocámaras PXW-X180/PXW-X160 en la “Versión 4,0.” Para obtener más información sobre las funciones añadidas en la “Versión 2,0,” “Versión 3,0,” y “Versión 3,1,” consulte la “actualización de firmware” de cada versión. Consulte también el “Manual de instrucciones” de la videocámara.

Compatibilidad con las tarjetas de memoria de la nueva serie XQD

La videocámara añade compatibilidad con las tarjetas de memoria XQD de la serie M de Sony. Además de las tarjetas de memoria de la serie G, también se pueden utilizar tarjetas de memoria QD**E de la serie G (el número ** indica la capacidad).

Si utiliza tarjetas de memoria distintas de las XQD (serie S, serie N, serie H, serie G, serie M), no podemos garantizarle el funcionamiento.

Para obtener información sobre el uso de tarjetas de memoria XQD y las precauciones de uso, consulte el manual de instrucciones de la tarjeta de memoria XQD.

Transferencia continua de alta calidad con el modo de cliente de red (solamente en el modelo PXW-X180)

Activando el modo de cliente de red y conectando la videocámara al Connection Control Manager (de aquí en adelante, “CCM”) de una estación de recepción de red RX PWS-100RX1 (de venta por separado), se pueden realizar transmisiones de gran calidad con la tecnología Sony QoS.

Configuración del modo de cliente de red

1 Conecte la videocámara a la red.

Si desea obtener información detallada, consulte “Conexión con otro dispositivo a través de una LAN inalámbrica (solamente en el modelo PXW-X180)” o “Conexión a Internet (solamente en el modelo PXW-X180)” en “Actualización de firmware” para la Versión 2.0.

2 Configure las opciones “Detail Settings” en “Network Client Mode” del menú System.

- CCM Address: introduzca la dirección del CCM conectado (nombre de host o dirección IP).
- CCM Port: introduzca el número de puerto del CCM conectado.
- User Name: introduzca el nombre de usuario.
- Password: introduzca la contraseña.
- NCM with Proxy: permite activar y desactivar la grabación proxy durante la conexión al CCM.

Notas

- Este ajuste no se puede completar si se deja en blanco alguna opción de la pantalla de ajustes.
- Ajustando “NCM with Proxy” en “Detail Settings” en “Enable” se activa la grabación proxy, aunque el modo de cliente de red esté activado. Para activar el ajuste “NCM with Proxy”, ajuste la opción “Setting” de “Proxy Recording Mode” en el menú Recording en “On.”
- Si la opción “NCM with Proxy” de “Detail Settings” está ajustada en “Disable,” la grabación proxy se detendrá si el modo de cliente de red se activa durante la grabación. Si continua la grabación de archivo original, al desactivar el modo de cliente de red se reiniciará la grabación proxy.

ES

3 Active la opción “Setting” de “Network Client Mode”, en el menú System.

Se activará el modo de cliente de red y se conectará la videocámara con la estación de recepción de red RX PWS-100RX1.

La reproducción en vivo se inicia con el uso de la estación de recepción de red RX PWS-100RX1.

Para obtener información sobre el uso, consulte el manual de instrucciones de la estación de recepción de red RX PWS-100RX1.

El ajuste “Setting” (On/Off) de “Network Client Mode” se puede asignar a un botón asignable. Para obtener información sobre como realizar la asignación, consulte el apartado “Botones asignables” del manual de instrucciones.

Notas

- No se puede cambiar al modo de cliente de red durante una transmisión normal.
- Después de cambiar al modo de cliente de red, no se pueden realizar transmisiones ni supervisiones del modo habitual.

- Si se cambia al modo de cliente de red mientras se supervisa, se detendrá la supervisión.
- Las velocidades de bits que se pueden configurar con la estación de recepción de red RX PWS-100RX1 se limitan a las siguientes, en función del formato de grabación proxy.
 - Si el formato de grabación proxy es 1280x720 9 Mbps/6 Mbps, la velocidad de bits de transmisión se ajustará en Very Low (1 Mbps o menos).
 - Si el formato de grabación proxy es 640x360 3 Mbps, la velocidad de bits de transmisión se ajustará en Low (3 Mbps o menos).
- El formato proxy no se puede cambiar en el modo de cliente de red. Para cambiar el formato, desactive temporalmente el modo de cliente de red.

Transferencia de archivos en el modo de cliente de red

Puede transferir archivos a un servidor configurado por el CCM conectando una estación de recepción de red RX PWS-100RX1 que actúe como CCM y la videocámara en modo de cliente de red.

Operación de transferencia de archivos desde el CCM

Puede transferir archivos de la videocámara desde la pantalla de control de un CCM conectado en modo de cliente de red.

- 1 Conéctese al CCM en modo de cliente de red.**
- 2 Realice operaciones de transferencia de archivos en el CCM.**

Para obtener más información sobre el funcionamiento, consulte el manual de instrucciones del CCM.

Operación de transferencia de archivos desde un dispositivo conectado a la videocámara

Puede transferir archivos de la videocámara desde un dispositivo (smartphone, tableta, ordenador u otro dispositivo) conectado a la videocámara en el modo de cliente de red.

- 1 Conéctese al CCM en modo de cliente de red.**
- 2 Conecte la videocámara y el dispositivo a la misma red y, a continuación, inicie**

un navegador en el dispositivo para conectarse a la videocámara.

- 3 Seleccione los archivos que desee transferir en la pantalla de la lista de archivos.**

Para obtener más información, consulte el apartado “Selección del archivo y carga” del manual de instrucciones.

- 4 Toque [Transfer].**

Se mostrará como destino “NCM: RX Server”.

Especifique como destino “NCM: RX Server”.

- 5 Toque [Transfer].**

Se iniciará la transferencia de los archivos seleccionados al servidor especificado en el CCM.

Notas

- No se pueden transferir archivos durante las transmisiones en el modo de cliente de red. Para poder transferir archivos, hay que detener la transmisión.
- Si se inicia la transmisión en el modo de cliente de red durante una transferencia de archivos, la transferencia se detendrá. Para poder reiniciar la transferencia de archivos, hay que detener la transmisión.

Operaciones con clips

Copia de clips

Puede copiar clips a otra tarjeta de memoria.

- 1 Seleccione “Copy Clip” en el menú de imágenes en miniatura.**
- 2**
 - **Para copiar un clip concreto, seleccione “Select Clip.”**
Puede seleccionar varios clips al mismo tiempo.
Pulse el botón OPTION después de seleccionar el clip que desee copiar.
 - **Para seleccionar todos los clips que se muestran, seleccione “All Clips”.**

Nota

- Si ya existe un clip con el mismo nombre en la tarjeta de memoria de destino de la copia, se añadirá un número entre paréntesis al nombre original.

Ajustes del nivel de referencia de audio

Se han añadido los niveles de referencia de audio de entrada -80dB y -70dB a “INPUT1 Reference” e “INPUT2 Reference” en “Audio Input” del menú Audio.

Menús añadidos o modificados en la Versión 4,0

Menús de imágenes en miniatura

Imagen en miniatura		
Opciones de menú	Opciones secundarias y valores de ajuste	Contenido
Copy Clip	Select Clip	Copia los clips seleccionados.
	All Clips	Copia todos los clips que se muestran.

Menú Setup

Los ajustes predeterminados de fábrica se muestran en negrita (ejemplo: **Disable**).

System		
Opciones de menú	Opciones secundarias y valores de ajuste	Contenido
Network Client Mode	Detail Settings NCM with Proxy Enable/ Disable	Activa/desactiva la grabación proxy en el modo de cliente de red. Enable: activa la grabación proxy durante la conexión con un CCM. Disable: desactiva la grabación proxy durante la conexión con un CCM.

Audio		
Opciones de menú	Opciones secundarias y valores de ajuste	Contenido
Audio Input	INPUT1 Reference -80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB	Selecciona el nivel de entrada de referencia cuando el interruptor INPUT1 se ajusta en MIC.
	INPUT2 Reference -80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB	Selecciona el nivel de entrada de referencia cuando el interruptor INPUT2 se ajusta en MIC.

Sono state aggiunte nuove funzioni alla videocamera grazie all'aggiornamento del firmware.

Funzioni aggiunte nella Ver. 4.0

- Supporto per le nuove schede di memoria Sony della serie XQD (*pagina 3*)
- Registrazione proxy in modalità client di rete (solo PXW-X180) (*pagina 3*)
- Trasferimento di file in modalità client di rete (solo PXW-X180) (*pagina 4*)
- Copia di clip (*pagina 4*)
- Impostazioni del livello di riferimento audio aggiuntive (*pagina 5*)

Funzioni aggiunte nella Ver. 3.1

- Visualizzazione del menu di impostazione della velocità dell'otturatore tramite un pulsante programmabile

Funzioni aggiunte nella Ver. 3.0

- Filtro ND automatico
- Streaming di alta qualità con la modalità client di rete (solo PXW-X180)
- Supportato per quanto segue mediante connessione di rete con cavo LAN (solo PXW-X180)
 - Caricamento di file
 - Uso del telecomando Wi-Fi
 - Uso del menu Web
 - Comando a distanza della videocamera utilizzando l'applicazione "Content Browser Mobile"
- Supportato per il modulo LAN wireless USB "CBK-WA02" (solo PXW-X180)
- Riproduzione ininterrotta di clip
- Revisione della registrazione con il telecomando
- Registrazione/riproduzione DVCAM (AVI)
- Registrazione proxy con "1280 × 720: 6 Mbps (VBR)" (solo PXW-X180)

Funzioni eliminate dalla Ver. 3.0

- Impostazioni di monitoraggio "640 × 360: 3 Mbps (VBR)"

Funzioni aggiunte nella Ver. 2.0

- Registrazione nella cache immagini
- Memoria del bilanciamento del bianco corrispondente alla posizione del filtro ND
- Trasmissioni in streaming tramite rete 3G/4G/LTE (di seguito chiamata "Live streaming") (solo PXW-X180)
- Prevenzione del "burn-in" del mirino
(Quando si allontana l'occhio dall'oculare l'immagine può essere visualizzata a colori invertiti o non essere visualizzata affatto).

Questo documento descrive le funzioni e le rispettive modalità di utilizzo aggiunte ai camcorder PXW-X180/PXW-X160 con la "Versione 4.0." Per informazioni dettagliate sulle funzioni aggiunte nelle versioni 2.0, 3.0 e 3.1, fare riferimento al relativo documento di descrizione dell'aggiornamento del firmware. Fare riferimento anche al manuale delle istruzioni del camcorder.

Supporto per le nuove schede di memoria della serie XQD

Il camcorder supporta ora le nuove schede di memoria Sony XQD serie M.

Oltre alle schede di memoria esistenti della serie G, possono essere utilizzate ora anche schede di memoria QD**E serie G (gli asterischi ** indicano la capacità).

Non è possibile garantire il funzionamento corretto se si utilizzano schede di memoria di tipo diverso dalle schede di memoria serie XQD (serie S, serie N, serie H, serie G, serie M).

Per informazioni dettagliate sull'utilizzo e sulle precauzioni per l'uso delle schede di memoria XQD, fare riferimento alle istruzioni per l'uso fornite con le schede di memoria XQD stesse.

Streaming di alta qualità con la modalità client di rete (solo PXW-X180)

Abilitando la modalità client di rete e collegando il camcorder al Connection Control Manager (nel seguito semplicemente "CCM") di una Network RX Station PWS-100RX1 (venduta separatamente), sarà possibile eseguire streaming di alta qualità mediante la tecnologia Sony QoS.

Impostazione della modalità client di rete

- 1 Connettere la videocamera alla rete.**
Per i dettagli, consultare "Connessione a un altro dispositivo tramite LAN wireless (solo PXW-X180)" o "Connessione a Internet (solo PXW-X180)" in "Aggiornamento del firmware" per la Ver. 2.0.
- 2 Impostare le voci di "Detail Settings" in "Network Client Mode" del menu System.**

- CCM Address: Immettere l'indirizzo del CCM collegato (nome Host o indirizzo IP).
- CCM Port: Immettere il numero di porta del CCM collegato.
- User Name: Immettere il nome utente.
- Password: Immettere la password.
- NCM with Proxy: Attiva o disattiva la registrazione proxy durante il collegamento a un CCM.

Note

- Questa impostazione non può essere completata se alcune delle opzioni della schermata di impostazione rimangono vuote.
- Impostando "NCM with Proxy" in "Detail Settings" su "Enable" abilita la registrazione proxy, anche quando è abilitata la modalità client di rete. Per abilitare l'opzione "NCM with Proxy", impostare "Setting" di "Proxy Recording Mode" nel menu Recording su "On".
- Se "NCM with Proxy" di "Detail Settings" è impostato su "Disable", la registrazione proxy si arresta se viene abilitata la modalità client di rete durante la registrazione. Se la registrazione del file originale continua, impostando la modalità client di rete su Off viene riavviata la registrazione proxy.

3 Impostare "Setting" di "Network Client Mode" nel menu System su "On".

Con questo si attiva la modalità client di rete e il camcorder viene connesso alla Network RX Station PWS-100RX1.

Lo streaming live viene avviato tramite la Network RX Station PWS-100RX1.

Per ulteriori informazioni sulle modalità di utilizzo, fare riferimento al manuale di istruzioni della Network RX Station PWS-100RX1.

L'impostazione "Setting" (On/Off) di "Network Client Mode" può essere assegnata a un tasto assegnabile. Per informazioni dettagliate, fare riferimento a "Tasti assegnabili" nel Manuale delle istruzioni.

Note

- Non è possibile attivare la modalità client di rete durante lo streaming normale.
- Dopo il passaggio alla modalità di client di rete, lo streaming normale e il monitoraggio non saranno disponibili.
- Se si attiva la modalità client di rete durante il monitoraggio, il monitoraggio si arresta.
- I bit rate di streaming che possono essere configurati dalla Network RX Station PWS-100RX1 sono limitati ai valori indicati di seguito, in base al formato di registrazione proxy.

- Se il formato di registrazione proxy è 1280×720 9Mbps/6Mbps, il bit rate di streaming è impostato su Very Low (1 Mbps o inferiore).
- Se il formato di registrazione proxy è 640×360 3Mbps, il bit rate di streaming è impostato su Low (3 Mbps o inferiore).
- Durante la modalità client di rete non è possibile cambiare il formato di proxy. Per cambiare il formato, impostare temporaneamente la modalità client di rete su Off.

Trasferimento di file in modalità client di rete

È possibile trasferire file a un server impostato dal CCM collegando al camcorder in modalità client di rete a una Network RX Station PWS-100RX1 che agisce come CCM.

Operazione di trasferimento di file da CCM

È possibile trasferire file contenuti sul camcorder mediante la schermata operativa di un CCM connesso in modalità client di rete

- 1 Collegarsi al CCM in modalità client di rete.**
- 2 Eseguire le operazioni di trasferimento dei file sul CCM.**

Per informazioni dettagliate sull'operazione, fare riferimento alle istruzioni per l'uso del CCM.

Operazione di trasferimento di file da un dispositivo collegato al camcorder

È possibile trasferire file contenuti sul camcorder da un dispositivo (smartphone, tablet, computer o altro dispositivo) connesso al camcorder in modalità client di rete.

- 1 Collegarsi al CCM in modalità client di rete.**
- 2 Collegare il camcorder e il dispositivo sulla stessa rete, quindi avviare un browser sul dispositivo per connettersi al camcorder.**
- 3 Selezionare i file da trasferire sulla schermata dell'elenco dei file.**

Per informazioni dettagliate, fare riferimento a “Selezione del file e caricamento” nel manuale delle istruzioni.

4 Toccare [Transfer].

“NCM: RX Server” è visualizzato come destinazione.
Specificare “NCM: RX Server” come destinazione.

5 Toccare [Transfer].

Il trasferimento dei file selezionati al server specificato sul CCM si avvia.

Note

- Il trasferimento di file non è supportato durante lo streaming in modalità client di rete. Il trasferimento di file ritornerà disponibile dopo l'arresto dello streaming.
- Se si avvia lo streaming in modalità client di rete durante il trasferimento di file, il trasferimento si arresta. Il trasferimento di file si riavvierà dopo l'arresto dello streaming.

Operazioni con i clip

Copia di clip

È possibile copiare clip su un'altra scheda di memoria.

1 Selezionare “Copy Clip” nel menu Thumbnail.

2 • Per copiare un clip specifico, selezionare “Select Clip”.

È possibile selezionare più clip contemporaneamente.

Premere il tasto OPTION dopo aver selezionato il clip da copiare.

- Per selezionare tutti i clip visualizzati, selezionare “All Clips”.

Nota

- Se un clip con lo stesso nome è già contenuta nella scheda di memoria di destinazione della copia, al nome originale viene aggiunto un numero tra parentesi.

Impostazioni del livello di riferimento audio

I livelli di riferimento audio di ingresso -80dB e -70dB sono stati aggiunti alle voci “INPUT1 Reference” e “INPUT2 Reference” di “Audio Input” nel menu Audio.

Menu aggiunti o modificati nella Ver. 4.0

Menu Thumbnail

Thumbnail		
Voci di menu	Voci secondarie e impostazioni disponibili	Contenuto
Copy Clip	Select Clip	Copia i clip selezionati
	All Clips	Copia tutti i clip visualizzati.

Menu Setup

Le impostazioni predefinite configurate in fabbrica sono evidenziate in grassetto (esempio: **Disable**).

System		
Voci di menu	Voci secondarie e impostazioni disponibili	Contenuto
Network Client Mode	Detail Settings	Abilita o disabilita la registrazione proxy in modalità client di rete.
	NCM with Proxy Enable/ Disable	Enable: Abilita la registrazione proxy durante il collegamento a un CCM. Disable: Disabilita la registrazione proxy durante il collegamento a un CCM.

Audio		
Voci di menu	Voci secondarie e impostazioni disponibili	Contenuto
Audio Input	INPUT1 Reference -80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB	Seleziona il livello di riferimento di ingresso quando il selettore INPUT1 è impostato su MIC.
	INPUT2 Reference -80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB	Seleziona il livello di riferimento di ingresso quando il selettore INPUT2 è impostato su MIC.

<http://www.sony.net>

© 2016 Sony Corporation

